



令和2年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和2年2月12日

上場会社名 株式会社アビスト 上場取引所 東  
 コード番号 6087 URL <https://www.abist.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 進 勝博  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 高橋 紀和 (TEL) 0422-26-5960  
 四半期報告書提出予定日 令和2年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年9月期第1四半期の連結業績(令和元年10月1日～令和元年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年9月期第1四半期	2,336	2.6	288	△37.9	298	△36.7	184	△41.6
元年9月期第1四半期	2,276	5.9	464	3.7	471	4.2	315	3.5

(注) 包括利益 2年9月期第1四半期 205百万円(△31.5%) 元年9月期第1四半期 300百万円(△5.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年9月期第1四半期	46.26	—
元年9月期第1四半期	79.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年9月期第1四半期	7,730	5,859	75.8
元年9月期	7,943	6,059	76.3

(参考) 自己資本 2年9月期第1四半期 5,859百万円 元年9月期 6,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
元年9月期	—	0.00	—	102.00	102.00
2年9月期	—	—	—	—	—
2年9月期(予想)	—	0.00	—	102.00	102.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年9月期の連結業績予想(令和元年10月1日～令和2年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,746	6.6	547	△20.9	557	△21.2	373	△20.7	93.96
通期	9,749	6.8	1,190	△8.2	1,236	△8.5	858	△9.5	215.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2年9月期1Q	3,980,000株	元年9月期	3,980,000株
2年9月期1Q	225株	元年9月期	225株
2年9月期1Q	3,979,775株	元年9月期1Q	3,979,807株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、長引く米中通商協議の影響を受けて、経済成長が減速しております。今後の先行きは、米国とイランの関係悪化による地政学的な緊張の高まりや米国と貿易相手国とのさらなる関係悪化などの下振れリスクが顕著であり、依然として不透明な状況が続いております。

我が国経済においては、国外経済の減速等から外需が弱いものの、雇用・所得環境の改善等により内需を中心に緩やかに回復しております。今後も緩やかな回復が続くことが期待されるものの、消費税率引き上げ後の経済動向を注視するとともに、米中貿易摩擦などの海外発の下振れリスクに留意する必要があります。

当社グループが主力事業を展開する自動車業界及び自動車部品業界においては、「100年に一度」といわれる自動車の急速な技術革新が進展していることにより、自動車業界の設備・研究開発投資は、引き続き堅調に推移するものと見込んでおります。そのような中で、ものづくりの上流工程である設計開発における技術者ニーズは引き続き増加するものと考えております。一方、取引先における働き方改革に伴う残業抑制による技術社員の稼働工数への影響などを注視する必要があります。

以上のような事業環境のもと、当社は主力事業である設計開発アウトソーシング事業における請負業務の拡大を中心に、積極的な事業推進に励んでまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は23億36百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は2億88百万円（同37.9%減）、経常利益は2億98百万円（同36.7%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1億84百万円（同41.6%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①設計開発アウトソーシング事業

当セグメントにおきましては、売上高は22億35百万円（前年同期比0.4%増）となり、セグメント利益（営業利益）は5億26百万円（同20.8%減）、セグメント利益（営業利益）率23.6%となりました。技術者稼働率が高水準で推移した一方、従業員の待遇面での見直しにより人件費が増加したことなどから、増収減益となりました。

#### ②3Dプリント事業

当セグメントにおきましては、事業の本格立ち上げ時期が当初想定していたよりも遅れた結果、売上高は、23百万円（前年同期比104.8%増）となり、セグメント損失（営業損失）は49百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）47百万円）となりました。

#### ③美容・健康商品製造販売事業

当セグメントにおきましては、美容商品の販売開始による売上があった一方、タレントを起用したテレビCMなどのプロモーションを実施したことによる広告宣伝費への投資により、売上高は55百万円（前年同期比87.7%増）、セグメント損失（営業損失）は47百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）21百万円）となりました。

#### ④不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、前連結会計年度から新規事業用不動産が新たに稼働したことにより、売上高は22百万円（前年同期比169.7%増）となり、セグメント利益（営業利益）は11百万円（同84.7%増）、セグメント利益（営業利益）率49.8%となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は77億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億13百万円の減少となりました。これは、主に配当金の支払いにより現金及び預金が減少したことによるものです。

負債合計は18億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円の減少となりました。これは主に賞与引当金の減少によるものです。

純資産合計は58億59百万円となり、主に配当金を支払いにより前連結会計年度末に比べ2億円の減少となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、令和元年11月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和元年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,197,729	1,907,466
売掛金	1,232,584	1,188,072
仕掛品	34,646	58,702
原材料	27,955	36,960
その他	129,790	181,101
流動資産合計	3,622,707	3,372,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,258,851	1,250,195
土地	1,323,948	1,323,948
その他(純額)	669,340	646,738
有形固定資産合計	3,252,140	3,220,882
無形固定資産	180,658	194,331
投資その他の資産	888,240	942,709
固定資産合計	4,321,039	4,357,924
資産合計	7,943,746	7,730,227
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	50,000	50,000
未払金	566,297	701,248
未払法人税等	205,331	15,663
賞与引当金	324,000	—
その他	47,311	395,037
流動負債合計	1,192,940	1,161,949
固定負債		
役員退職慰労引当金	215,823	223,352
退職給付に係る負債	396,200	406,690
その他	79,039	79,039
固定負債合計	691,063	709,082
負債合計	1,884,004	1,871,031
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,026,650	1,026,650
資本剰余金	1,016,650	1,016,650
利益剰余金	4,144,720	3,922,888
自己株式	△755	△755
株主資本合計	6,187,265	5,965,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34,930	△20,641
退職給付に係る調整累計額	△92,591	△85,595
その他の包括利益累計額合計	△127,522	△106,236
純資産合計	6,059,742	5,859,195
負債純資産合計	7,943,746	7,730,227

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年10月1日 至平成30年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自令和元年10月1日 至令和元年12月31日)
売上高	2,276,518	2,336,580
売上原価	1,529,703	1,664,219
売上総利益	746,815	672,360
販売費及び一般管理費	282,177	383,742
営業利益	464,637	288,617
営業外収益		
受取配当金	400	1,144
受取手数料	270	333
投資有価証券売却益	7,129	8,161
その他	47	722
営業外収益合計	7,847	10,361
営業外費用		
支払利息	46	116
開業費償却	548	—
営業外費用合計	595	116
経常利益	471,889	298,862
税金等調整前四半期純利益	471,889	298,862
法人税、住民税及び事業税	52,038	4,301
法人税等調整額	104,349	110,456
法人税等合計	156,388	114,758
四半期純利益	315,500	184,104
親会社株主に帰属する四半期純利益	315,500	184,104

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年10月1日 至平成30年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自令和元年10月1日 至令和元年12月31日)
四半期純利益	315,500	184,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,055	14,288
退職給付に係る調整額	3,602	6,996
その他の包括利益合計	△15,452	21,285
四半期包括利益	300,048	205,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	300,048	205,390
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成30年10月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	設計開発 アウトソーシ ング事業	3Dプリント 事業	美容・健康商 品製造販売 事業	不動産賃貸 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	2,227,505	11,318	29,292	8,402	2,276,518	—	2,276,518
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	141	—	141	△141	—
計	2,227,505	11,318	29,433	8,402	2,276,660	△141	2,276,518
セグメント利益又は 損失(△)	665,222	△47,202	△21,163	6,112	602,969	△138,332	464,637

(注) 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△138,332千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和元年10月1日 至 令和元年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	設計開発 アウトソーシ ング事業	3Dプリント 事業	美容・健康商 品製造販売 事業	不動産賃貸 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	2,235,591	23,182	55,141	22,664	2,336,580	—	2,336,580
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	114	—	114	△114	—
計	2,235,591	23,182	55,256	22,664	2,336,694	△114	2,336,580
セグメント利益又は 損失(△)	526,983	△49,690	△47,803	11,287	440,777	△152,159	288,617

(注) 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△152,159千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来の「設計開発アウトソーシング事業」に含まれていた「3Dプリント事業」については、経営上の質的重要性が増した為、及び従来の「その他」に含まれていた「不動産賃貸事業」については、新たに賃貸用不動産を取得したことにより資産の量的重要性が増した為、各々報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、上記を踏まえ、前連結会計年度より、従来「設計アウトソーシング事業」に配賦していた全社的な管理費用を「調整額」として記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、上記変更を踏まえて作成したものを記載しています。